

# 1 教育目標

## (1) 本校の教育目標

校訓を基底におき、「自己存在感や自己肯定感を高め、自ら成長できる子」の育成を通して、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを目指します。

校 訓	めざす児童像	具 体 目 標
○ なかよく ○ がんばる ○ やさしい子	謙虚さや感謝の気持ち を持ちを大切に、自ら成長できる子	・学び合い、考えを広げたり高めたりする子 ・意欲的な姿勢で学び、基礎学力を高める子 ・進んであいさつをして自分を開く子 ・明るく、思いやりを持ち、人権感覚を高める子 ・体を鍛え、主体的に運動する子

## (2) 経営方針

全教職員が教育愛と情熱を持って学校経営への参画意識を共有して、家庭や地域と連携・協働しながら、4つのアプローチからなる来迎寺スタンダード【「わくわく」学びづくり・「いきいき」心づくり・「すくすく」体づくり・「どきどき」絆づくり】を充実させることで調和の取れた知・徳・体の育成を図ります。特に、自己存在感や自己肯定感の獲得を支援することを通して、「この仲間とだから分かった、成長できた」と感じられる学習・生活の場として魅力ある学校づくりを推進します。

## (3) 本年度の重点努力目標

### ア 確かな学力の育成（知） — 【「わくわく」学びづくり】

- ① 「主体的・対話的で、深い学び」を実現する課題解決型の授業を進めることで、「学ぶ楽しさ」を実感できるようにします。
- ② 学びのユニバーサルデザイン化や、一人一人の児童へのきめ細やかな指導、特別な支援が必要な児童への支援体制の充実に努めることで「分かるうれしさ」を実感できるようにします。

### イ 豊かな心の育成（徳） — 【「いきいき」心づくり】

- ① 「自分を開き、相手に寄り添うあいさつ」を奨励し、人と関わり合う姿勢、自己肯定感を醸成します。
- ② 心に響く道徳の授業の展開に努め、命を尊ぶ態度や人権感覚の醸成、規範意識の高揚等、教育活動全体で豊かな道徳性を培います。
- ③ 支援が必要な児童を多面的・多角的に理解するためのアプローチとして、必要に応じて医療や心理学の専門家を加えた継続的ケース会議を設置します。

### ウ 健やかな体の育成（体） — 【「すくすく」体づくり】

- ① 授業、朝の活動、放課等の時間を有効に活用したり、手軽に運動ができるような設備の充実を図ったりすることで、主体的に運動する児童を育てます。
- ② 食育を推進するとともに、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養います。

### エ 自己存在感の育成 — 【「どきどき」絆づくり】

- ① 自他の「いいところ」を認め合う場の設定や、Q U等の調査を有効活用して確かな絆づくりに努めます。
- ② 当番活動や係活動の充実と、キャリアプランニング能力の育成に努めます。

### オ 学校・家庭・地域の連携と協働を通じた「地域とともにある学校」づくり

- ① 防犯・防災体制の充実を図り、安心して学ぶことのできる魅力的で安全な教育環境づくりに努めます。
- ② 家庭・地域との連携のあり方やPTAの活動等を見直すことを通して、誰もが参画しやすく、かつ、社会の変化に対応する組織改革に努めます。
- ③ 積極的な情報発信、地域人材の有効活用に努めます。

### カ 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ① 校内外での研修・研究機会を確保し、教育公務員としての自覚や資質の向上に努めます。
- ② 学校マネジメント力の強化を通して、教育活動の見直しと多忙化解消を推進し、個々の教員の望ましい働き方や生き方の実現を図ります。